

施工説明書

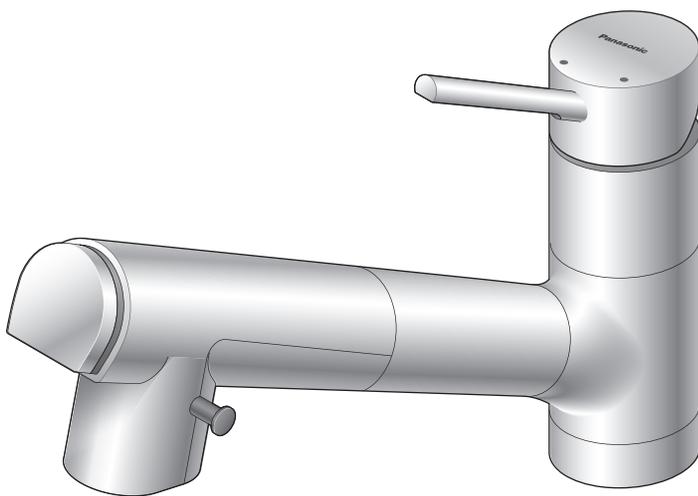
浄水器（混合水栓型）

家庭用

品番 **TKCK40SSK**（一般地仕様）

TKCK40SSKZ（寒冷地仕様）

※ 品番の頭には「JG」などのキッチンシリーズを示す英字 2 文字が入ります。



- 取付設置は、この施工説明書に従って正しく行ってください。
 - 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行ってください。なお、シンクの種類、フロアユニットの組み合わせによって、配管接続方法が異なりますのでご注意ください。
- 最終点検（水漏れ、動作および通水量確認）は、必ず行ってください。
- 取付設置終了後、取扱説明書（保証書付き）・カートリッジは、必ずお客様（施主）にお渡しください。
- 正しい設置をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 梱包材や残材は「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。

もくじ

安全上のご注意	2
取付設置上のお願い	4
付属部品一覧表	5
寸法図	6
取付設置の概要図	7

取付設置手順	8
● 給湯・給水管内の清掃	8
● 止水栓（現場調達）の取り付け	8
● 水栓本体の取り付け	10
● 給湯・給水ホースの接続	11
● シャワーホースの接続	12

取付設置後の確認	13
● 水漏れおよび通水確認・ 流量調節・湯温調節	13
● 寒冷地での水抜きのしかた	15
● 最終点検チェックリスト	裏表紙
● 引き渡し	裏表紙

は
じ
め
に

取
り
付
け
る

こ
の
説
明
書
を
確
認
し
て
く
だ
さ
い

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です。)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

■ **飲用に合格した水(水道水など)以外には使用しない**

殺菌能力がなく、除去できる物質以外の有害物質は除去できないため、飲むと体調を損なう原因になります。

■ **湯水を逆に配管しない**

水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。必ず、給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。

■ **給湯に蒸気を使用しない**

器具が破損し、やけどをしたり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **配管などの解氷のため解氷機を使用する場合、水栓や配管には絶対に通電しない**

水栓や配管が発熱し、火災ややけど、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **寒冷地仕様の場合、水抜きコックを水抜き以外の目的で開けない**

高温のお湯が出て、やけどをしたり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **カウンターやシンクユニットに穴をあけるときは、屋内配管を傷つけない**

漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **器具に強い力や衝撃を与えない**

器具が破損し、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **めっきの表面が割れた場合は使用しない**
けがをするおそれがありますので、新しい部品に交換してください。

■ **めっき部品は、ぶついたり落としたりしない**

■ **鋭利な物や硬いものをあてない**

めっきの表面が割れ、けがをするおそれがあります。また、器具が破損し、やけどをしたり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **上下戻り配管をしない**

ウォーターハンマーなどで給湯・給水ホースが振動した際、屈曲部から漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホース同士を接触させない**

■ **給湯・給水ホースを壁に接触させない**

接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホースを折り曲げたり、ねじったりしない**

■ **給湯・給水ホースは、鋭角に曲げたり、根元で曲げたりしない**

急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **吐水口の先に他の機器を接続しない**

水栓本体に異常な水圧がかかり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **分解したり、修理・改造しない**
(指定された配管部等は除く)

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止



禁止



分解禁止



警告



必ず守る

■ 取付設置は、この施工説明書に従って、確実にを行う

取付設置に不備があると、やけどをしたり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず守る

■ 水圧変動をおさえた配管設備にする

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇しやけどのおそれがあります。

注意



必ず守る

■ 給湯温度は60℃以下で使用する

60℃より高温で使用すると、カートリッジが破損する場合があります。

■ 止水栓取り付け個所や給湯・給水管との接続個所は、点検口を設けるなど点検をしやすい状態にする

漏水発生時に発見が遅れて家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 座金および座ナットの締め付けには、推奨工具:TK01X7287(別売)を使用する

推奨工具を使用しないと、本体がゆるんだり、がたつきが発生して、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 推奨工具で確実に締め付ける

締め付けが足りなかったり、締め付けすぎると、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 止水栓がしっかり固定されていることを確認する

給湯・給水ホースが抜け、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 小型電気温水器(即湯器)などに給湯ホースを接続する時は、ステンフレキ管を介す

高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 給湯・給水ホースの接続が確実にされているか確認する

確実に接続されていないと、給湯・給水ホースが外れ、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず守る

■ 給湯・給水ホースは、ゆるやかに、つぶれないように曲げる

給湯・給水ホースは、R50以上の大きな曲げ半径になるように曲げる急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 凍結が予想される場合で一般地仕様の場合、配管部に布を巻くなど凍結を防止する

■ 寒冷地仕様の場合、配管と水栓金具の水抜き操作をする

凍結破損して漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 混合水栓取り付け後、通水して水の出し止めを5～6回繰り返して、配管接続部および混合水栓からの水漏れがないことを確認する

漏水して家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ メンテナンスは、水栓本体を保持しながら行う

レバーハンドルやハンドシャワーを持って部品を外すと、器具が破損して漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 最終点検時は、混合水栓を含む配管接続部全体の水漏れ点検を十分に行う

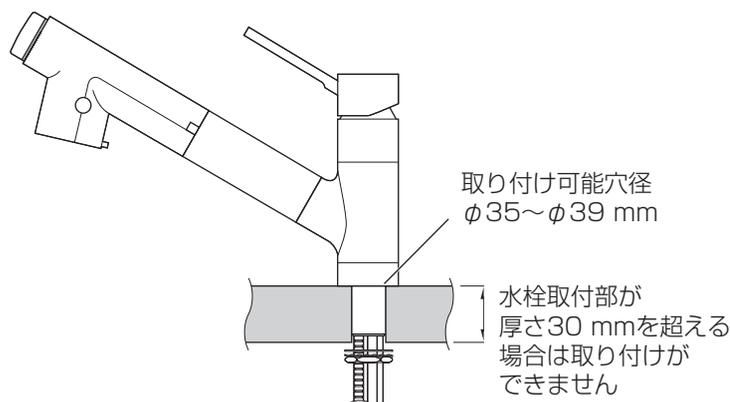
万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。

安全上の注意



取付設置上のお願い

- 次のような場所には設置しないでください。(故障の原因)
 - 高温部(40℃以上)の近く
 - 浴室や洗面所
 - 屋外や風雨にさらされる所
 - 油の付着する所
 - 凍結の可能性のある所 [凍結の可能性のある所に設置する場合は、寒冷地仕様(水抜きコック付きホースガイド)をご使用ください。]
- 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行ってください。
なお、シンクの種類、フロアユニットの組み合わせによって配管接続方法が異なります。
- 必ず水栓、付属の配管部材をセットでご使用ください。
- 吐水口をホースなどで延長しないでください。(故障の原因)
- カウンターやシンクの穴あけには、材質にあった工具を使用してください。
(カウンターやシンク破損の原因)
- 取り付け可能なカウンターの穴径はφ35～φ39 mmです。
- 水栓取付部が厚さ30 mmを超える場合は、穴あけしないでください。



- カウンターやシンクに穴をあけるときは、裏側に固定金具などがいないか確認してください。
- 水栓取付部に裏板がない場合は、裏板などで補強してください。
- 使用水圧は下記のようにしてください。

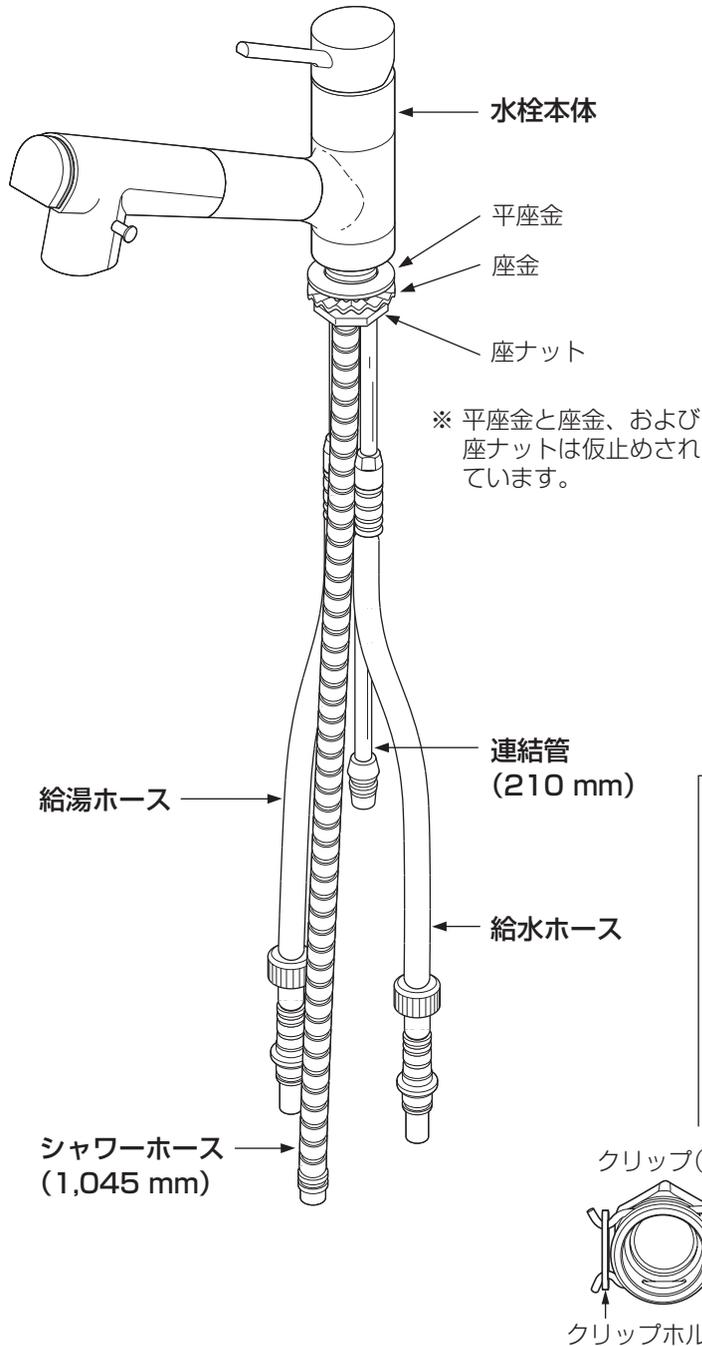
[A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失)]

- ① 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃、給湯器温度調節:高温、吐水温度:42℃、ハンドル全開)
[比例制御式] 最低必要水圧: A+0.07 MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75 MPa(静水圧)
- ② 貯湯式給湯器との組み合わせ
[給湯・給水圧力] 最低必要水圧: A+0.07 MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75 MPa(静水圧)

- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水圧力が0.3 MPaから0.75 MPaまでは、止水弁で流量調節してください。給水圧力が0.75 MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2 MPa程度に減圧してください。
- 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- 給湯器からの給湯管は最短距離で配管し、必要に応じて配管には保温材を巻いてください。
- 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。
- 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付けなど)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- 器具内に水が残っている場合がありますが、通水検査によるもので製品には問題ありません。
(ただし、カートリッジは未通水)

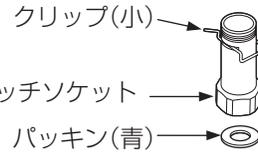
付属部品一覧表

<水栓本体部>



給水ジョイント(給湯・給水ホース) 2個

一般地仕様：逆止弁あり、
寒冷地仕様：逆止弁なし

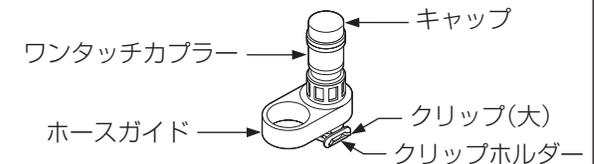


※ クリップ(小)は給水ジョイントに取り付けられています。外さないでください。

ストッパー(シャワーホース用) ねじ1本付き

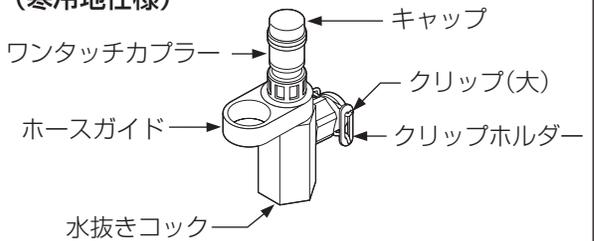


ホースジョイント(一般地仕様)



※ ワンタッチカプラーはホースジョイントに取り付けられています。
※ クリップ(大)とクリップホルダーはホースジョイントに取り付けられています。外さないでください。

水抜きコック付きホースジョイント(寒冷地仕様)



※ ワンタッチカプラーは水抜きコック付きホースジョイントに取り付けられています。
※ クリップ(大)とクリップホルダーは水抜きコック付きホースジョイントに取り付けられています。外さないでください。

カートリッジ
(Oリング付き)



取扱説明書(袋入り) 施工説明書
(保証書付き)

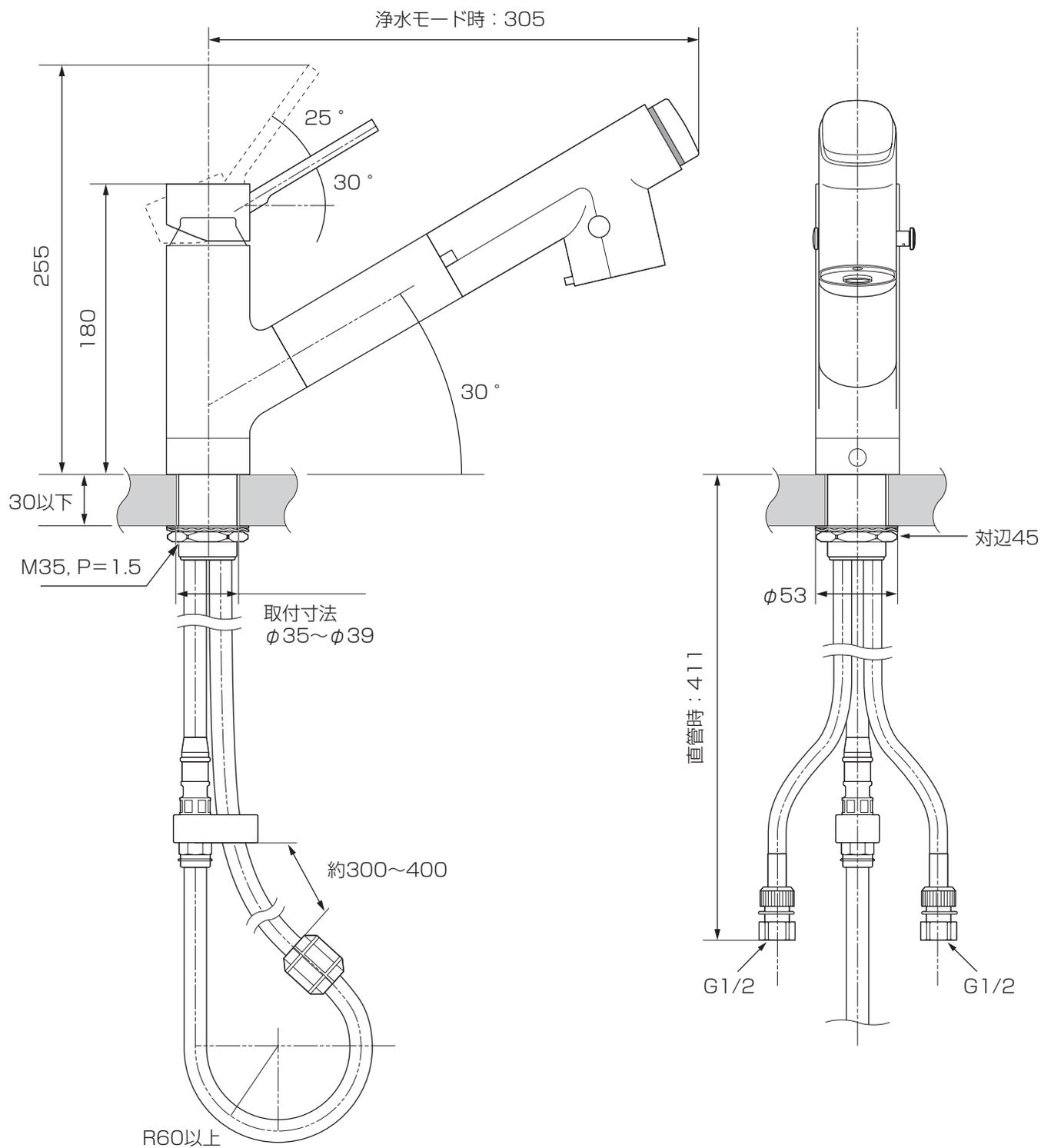


別売品(補修部品扱い)

推奨工具品番： SEG11	推奨工具品番： TK01X7287
対辺47 mm	対辺45 mm

寸法図

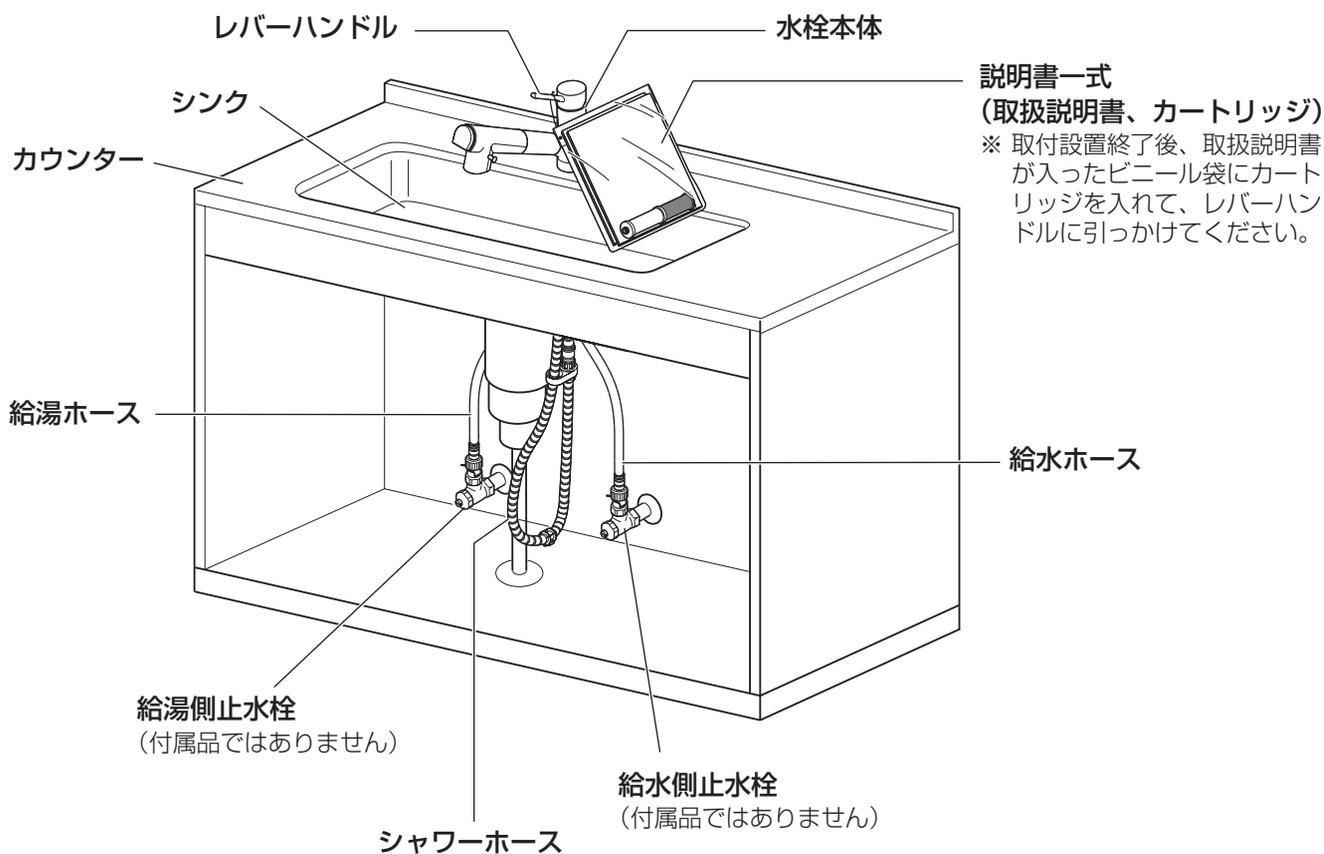
(寸法単位：mm)



寸法図

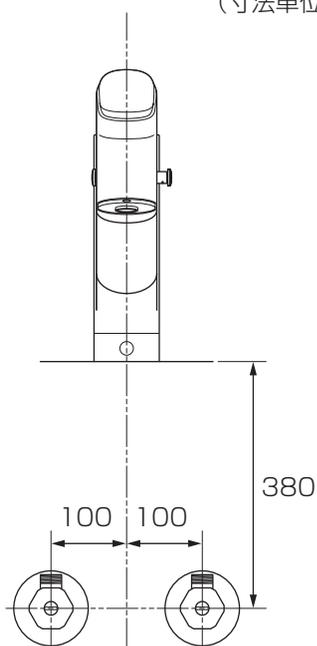
取付設置の概要図

下図は、一般地仕様を例に、商品や部品を説明するためのものです。実際の設置状態と異なります。



■ 止水栓の取り付け位置

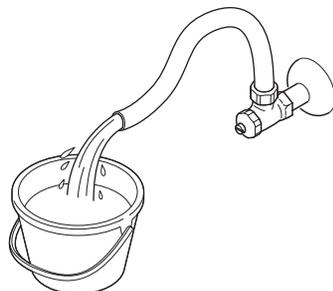
(寸法単位：mm)



取付設置手順

給湯・給水管内の清掃

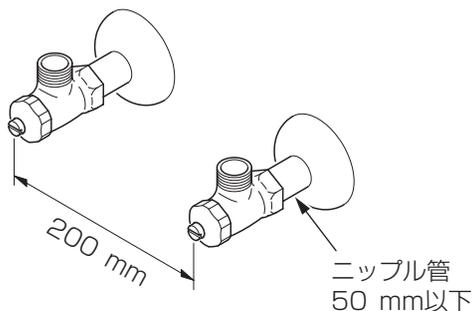
取り付ける前に、必ず給湯・給水配管内のゴミ、砂などを十分に洗い流してください。



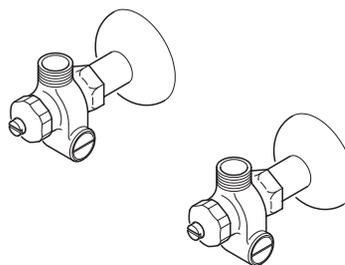
止水栓（現場調達）の取り付け

給湯管と給水管の間隔を200 mm程度にして、取り付けてください。

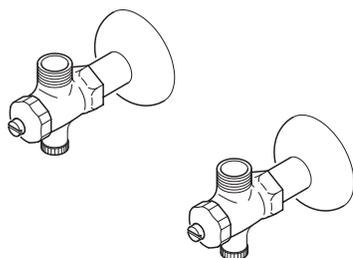
■ 壁給水仕様



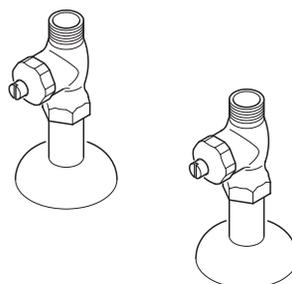
■ ストレーナー付き仕様



■ 水抜き栓付き(寒冷地仕様)



■ 床給水仕様



止水栓について

- 止水栓はストレーナー付きが最適です。
- 寒冷地用は、水抜き栓付き止水栓を取り付けてください。

⚠ 注意



禁止

■ **上下戻り配管をしない**

ウォーターハンマーなどで給湯・給水ホースが振動した際、屈曲部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホース同士を接触させない**

■ **給湯・給水ホースを壁に接触させない**

接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホースは、鋭角に曲げたり、根元で曲げたりしない**

急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず守る

■ **座金および座ナットの締め付けには、推奨工具：TK01X7287(別売)を使用する**

推奨工具を使用しないと、本体がゆるんだり、がたつきが発生して、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **推奨工具で確実に締め付ける**

締め付けが足りなかったり、締め付けすぎると、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **止水栓がしっかり固定されていることを確認する**

給湯・給水ホースが抜け、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホースは、R50以上の大きな曲げ半径になるように曲げる**

急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ **給湯・給水ホースの接続が確実にされているか確認する**

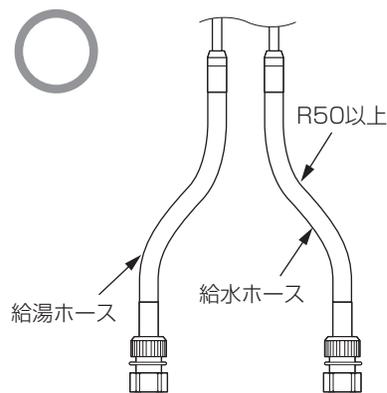
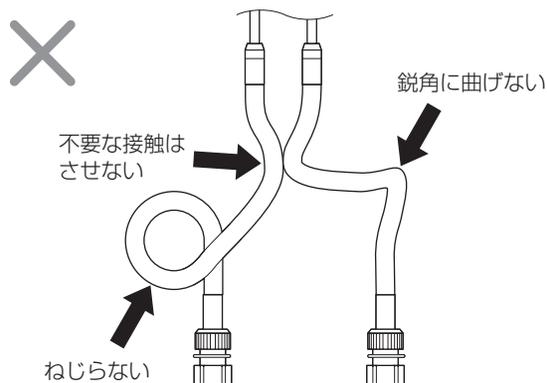
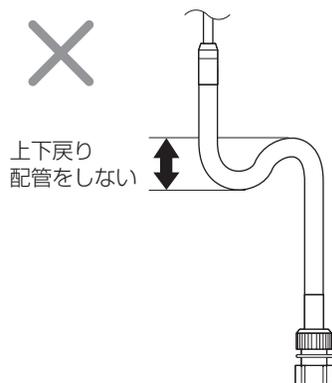
確実に接続されていないと、給湯・給水ホースが外れ、漏水して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

■ 給湯・給水ホースの接続時の注意点

上下戻り配管をしない

接触させない・ねじらない・鋭角に曲げない

R50以上の曲げ半径にする



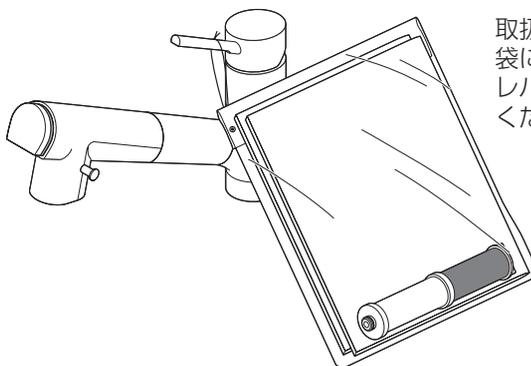
取付設置手順

取付設置手順

1. 水栓本体の取り付け

注意事項

- カートリッジは取り付けないでください。実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。

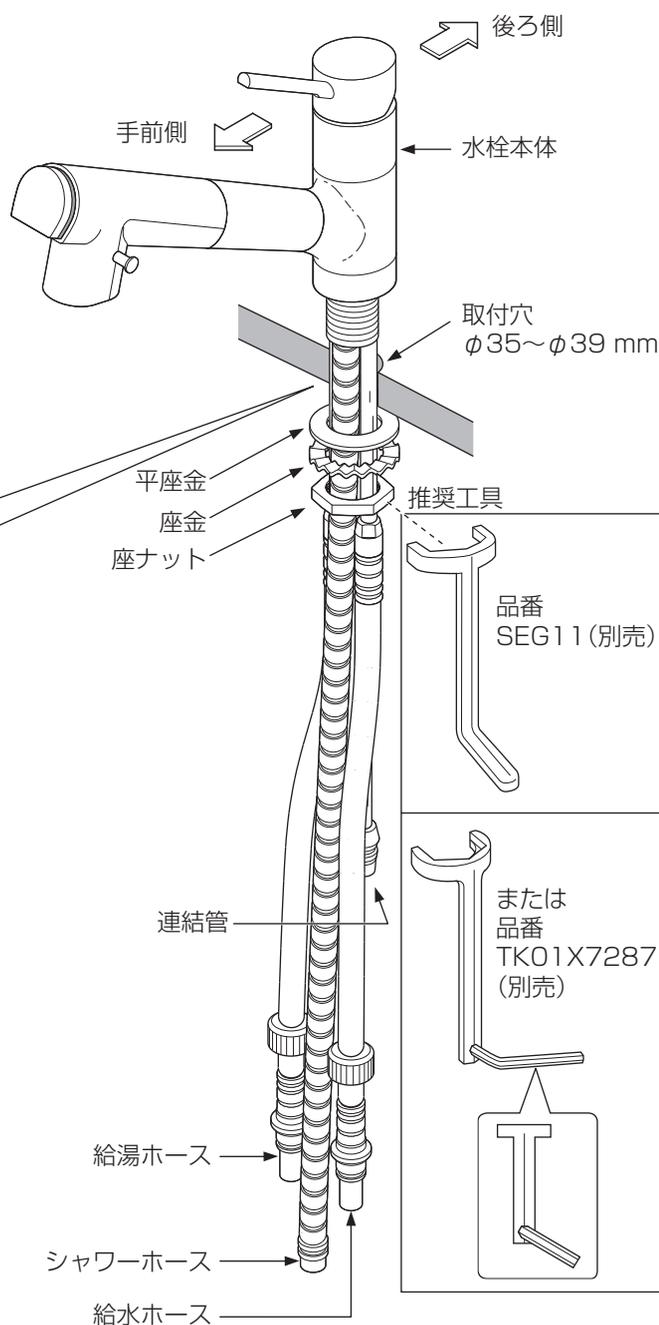


取扱説明書が入ったビニール袋にカートリッジを入れて、レバーハンドルに引っかけてください。

1 水栓本体の取付穴を開ける

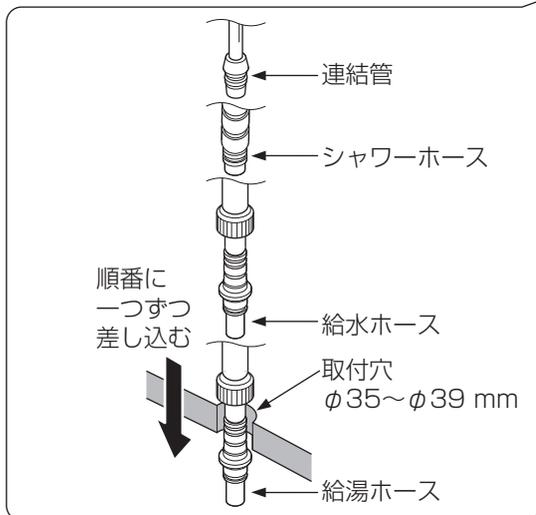
注意事項

- 水栓取付部が厚さ30 mmを超える場合は、穴あけしないでください。(30 mmを超える場合は、取り付けができません。)
- 穴あけ加工後は、バリやエッジをきれいに取り除いてください。



2 仮止めしてある座金と座ナットを取り外す

3 給湯・給水ホース、シャワーホース、連結管の順に取付穴に差し込む



4 水栓本体が正面を向くように、位置を合わせる

5 推奨工具：SEG11 (別売)またはTK01X7287 (別売)を使用して、座金および座ナットで固定する

注意事項

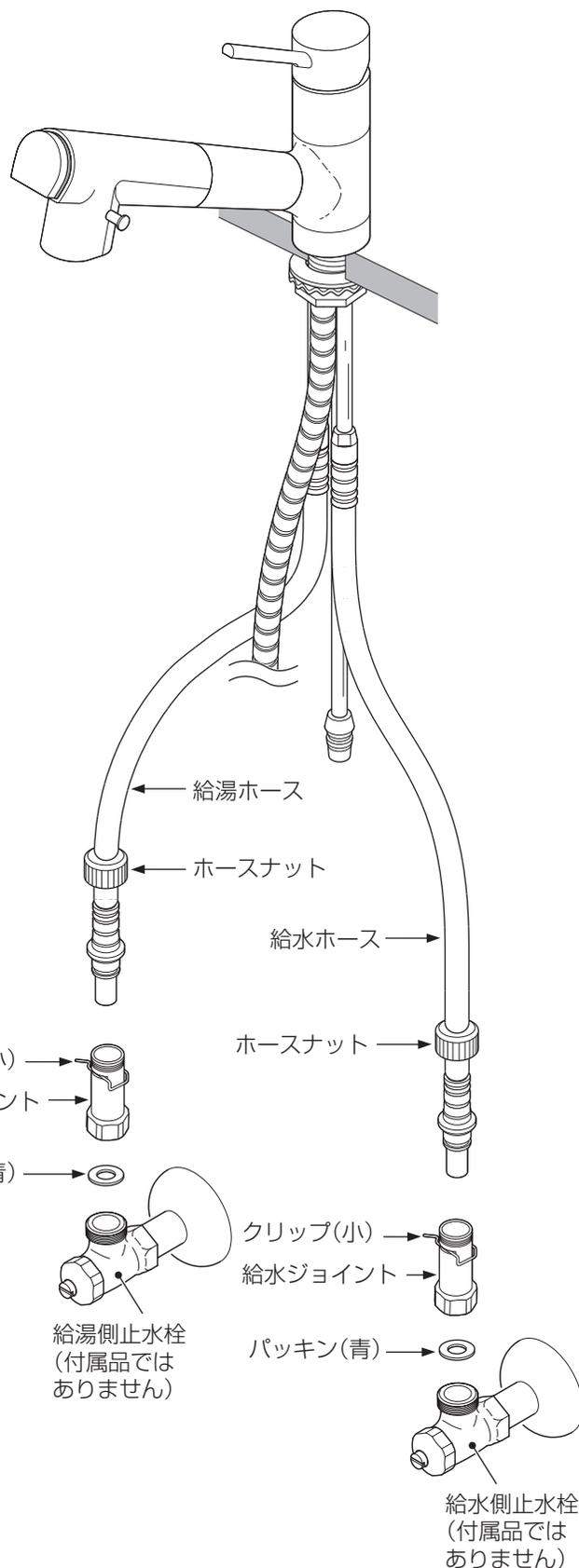
- 座金および座ナットを確実に締め付けてください。

2. 給湯・給水ホースの接続

- 1 給水ジョイントおよびパッキン(青)を給湯側・給水側止水栓(2か所)に確実に締め付けて接続する
- 2 給湯・給水ホースおよびパッキンを給水ジョイントにまっすぐ奥まで差し込む
- 3 給湯・給水ホースのホースナットを給水ジョイントに締め付け固定する

注意事項

- クリップ(小)は給水ジョイントに取り付けられた状態で給湯・給水ホースを差し込んでください。
- 必ず給水ジョイントを止水栓に固定してから、給湯・給水ホースを接続してください。
- 給湯・給水ホースは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。(確実に差し込まないと、水漏れの原因になります。)
- 給湯・給水ホースをまっすぐ上に引っ張って外れないことを確認してください。



※ クリップ(小)は給水ジョイントに取り付けられています。外さないでください。

(止水栓の形状は、タイプにより異なります。)

取付設置手順

3. シャワーホースの接続

- 1 ワンタッチカプラーのキャップを外し、連結管にまっすぐ奥まで差し込む

注意事項

- ワンタッチカプラーは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。(確実に差し込まないと、水漏れの原因になります。)
- 取り外す場合は、ワンタッチカプラーの青いスライダーを押し下げてください。

- 2 シャワーホースをホースガイドに通し、シャワーホースをワンタッチカプラーにまっすぐ奥まで差し込む

注意事項

- クリップ(大)はホースジョイントに取り付けられた状態でシャワーホースを差し込んでください。
- シャワーホースは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。(確実に差し込まないと、水漏れの原因になります。)
- 取り外す場合は、クリップ(大)を外してください。

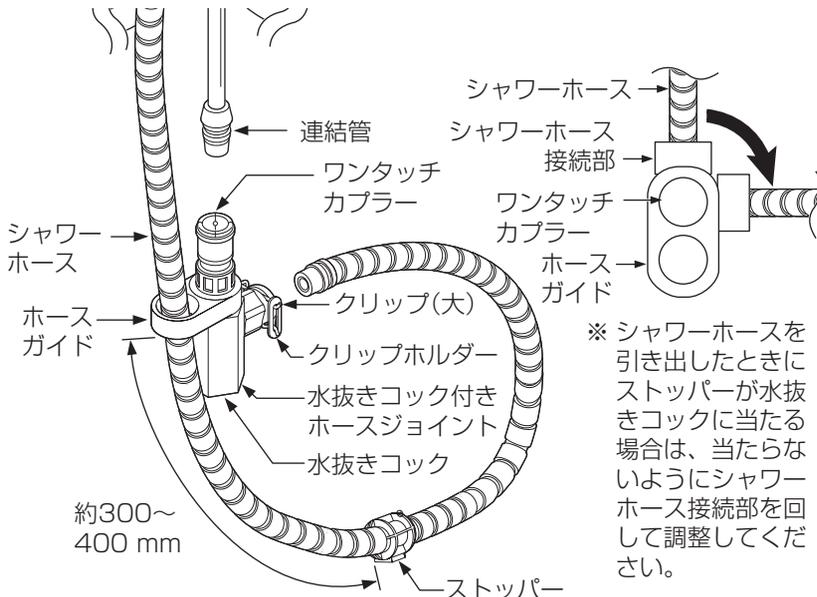
- 3 シャワーホースにストッパーを所定の長さでセットし、フックを確実にとめたあと、ネジで固定する

注意事項

- ストッパーを確実に取り付けないと、シャワーホースに無理な力が加わって破損を起こし、水漏れの原因になります。

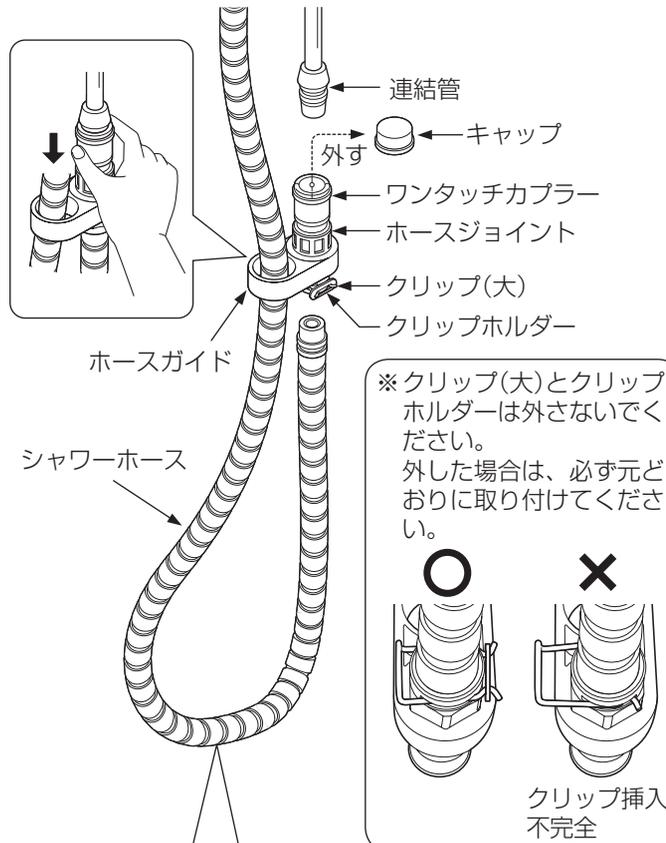
寒冷地仕様

- 寒冷地仕様の場合は、ホースジョイントに水抜きコックが付いています。

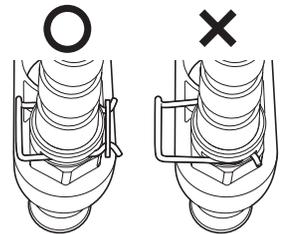


※ シャワーホースを引き出したときにストッパーが水抜きコックに当たる場合は、当たらないようにシャワーホース接続部を回して調整してください。

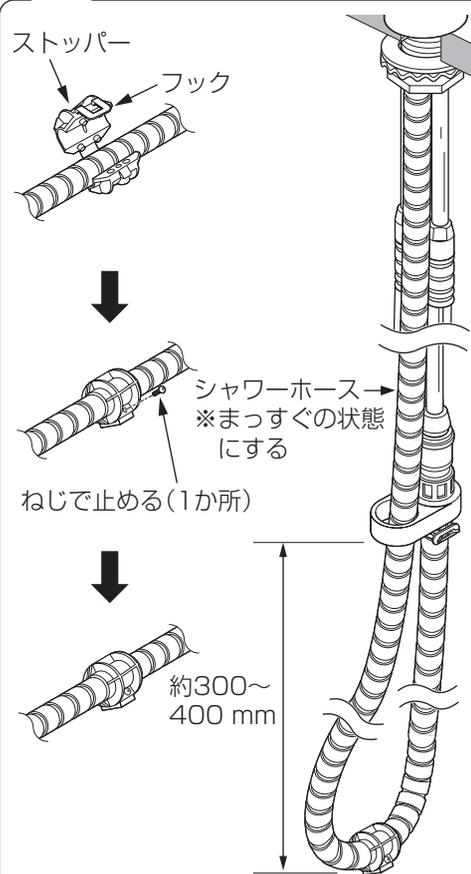
※ クリップ(大)とクリップホルダーは外さないでください。外した場合は、必ず元どおりに取り付けてください。



※ クリップ(大)とクリップホルダーは外さないでください。外した場合は、必ず元どおりに取り付けてください。



クリップ挿入不完全

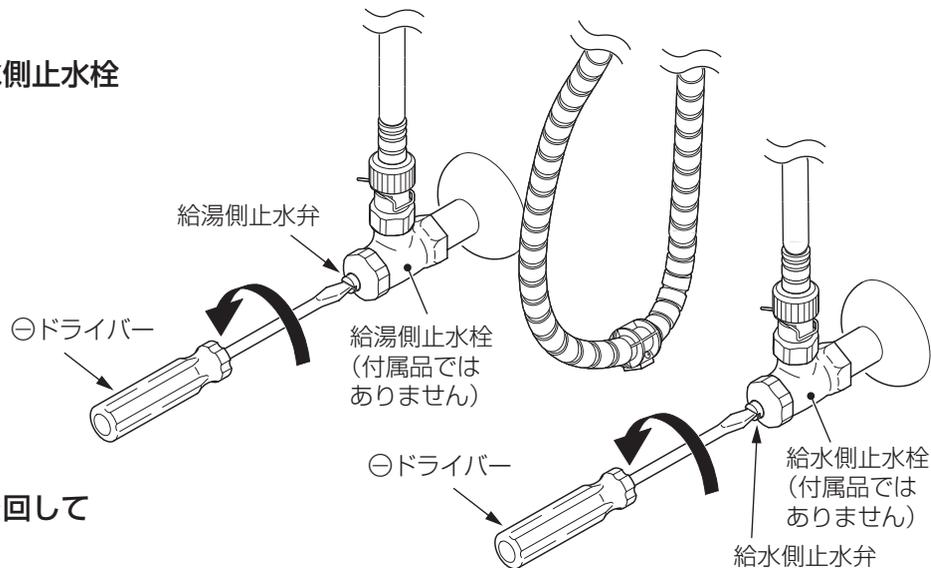


取付設置後の確認

水漏れおよび通水確認・流量調節・湯温調節

■ 通水確認

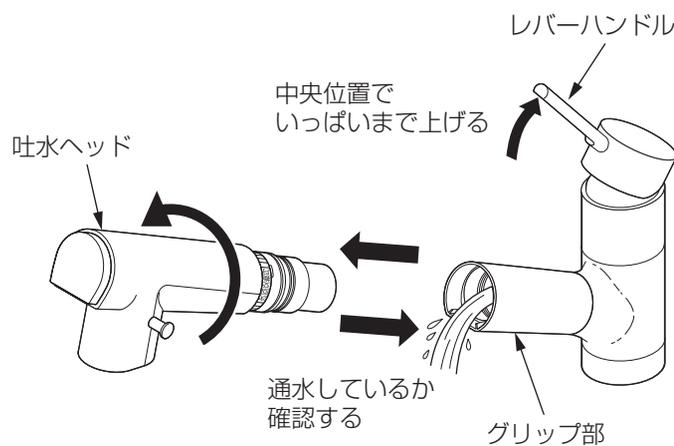
- 1 水道の元栓および給湯側・給水側止水栓 (2か所)を開ける



- 2 ハンドシャワーの吐水ヘッドを回してグリップ部から取り外す

- 3 レバーハンドルを中央位置でいっぱいまで上げて、通水していることを確認する

- 4 吐水ヘッドを回してグリップ部に取り付ける

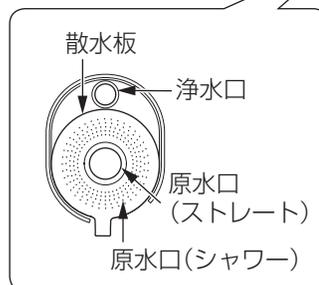
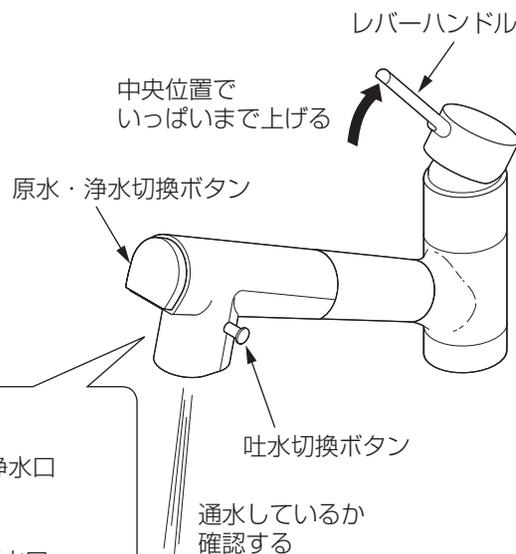
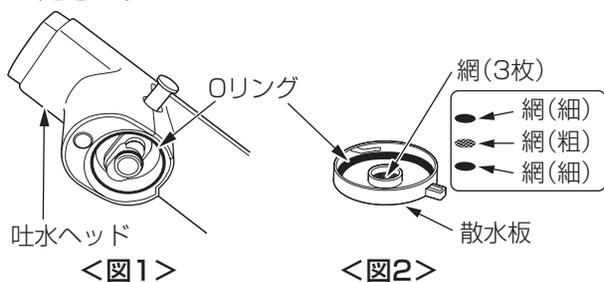


- 5 吐水切換ボタンを押して、ストレート・シャワーの切り換えを確認する

- 6 原水・浄水切換ボタンを押して、原水・浄水の切り換えを確認する

注意事項

- 散水板を取り外す場合は、部品の脱落・紛失に注意してください。
 - ・ Oリングは、吐水ヘッド側に残る場合(図1)があります。
 - ・ 網(3枚)は散水板側に残ります。(図2)
- ※ 網やOリングが外れた場合は、図2のように取り付けてください。網は、(細)、(粗)、(細)の順に確実に取り付けてください。Oリングは、奥までしっかりとめ込んでください。



取付設置手順

取付設置後の確認

■ 流量調節

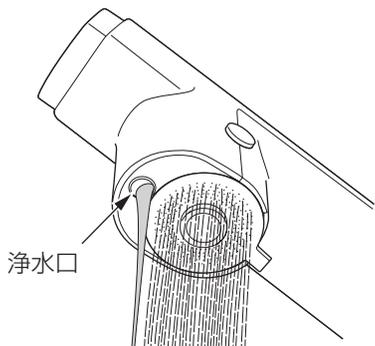
- 1 レバーハンドルを上げて、原水(ストレート)で全開吐水状態にする
- 2 給湯側・給水側止水栓(2か所)を回し、流量を調節する
- 3 流量調節後は、レバーハンドルをいっぱいまで下げて、止水する

流量調節の目安

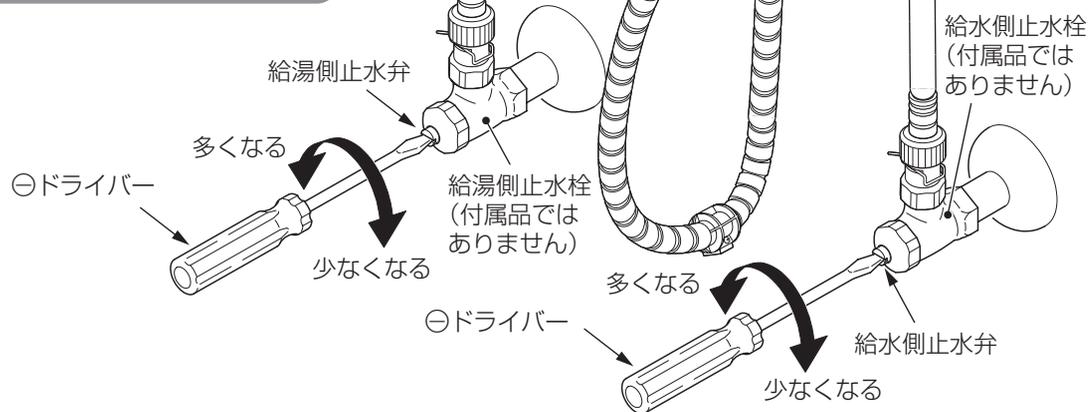
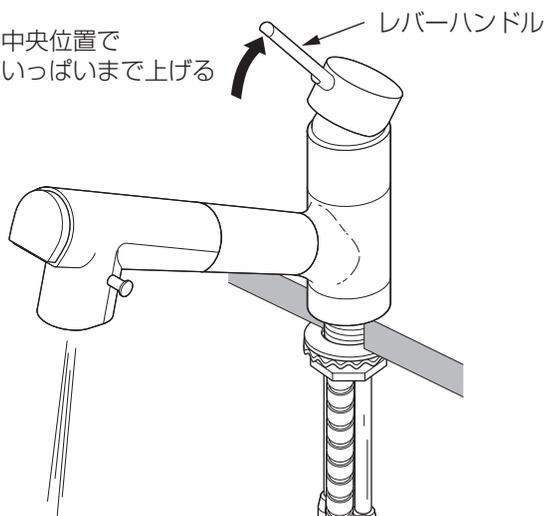
- 流量の目安：約15秒間に2 L(やかん1杯)程度

お知らせ

- 水圧が高すぎると、原水(ストレートまたはシャワー)を使用中に浄水口から水が出ます。給湯側・給水側止水栓で流量を調節してください。



中央位置で
いっぱいまで上げる

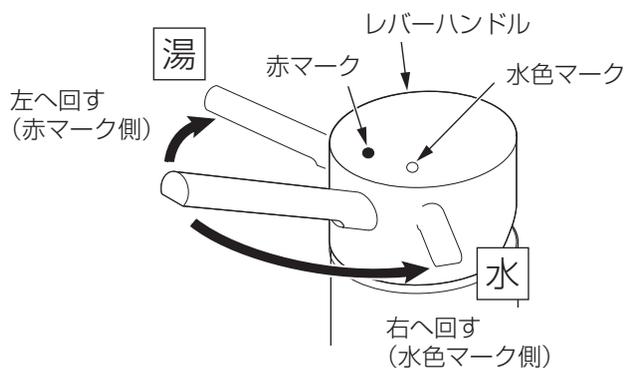


給水側止水栓
(付属品では
ありません)

取付設置後の確認

■ 湯温調節

- 1 レバーハンドルを上げて左右に動かし、水の出、湯の出を確認する
- 2 湯に手をかざして、湯温が適正であるか確認する



取付設置後の確認

最終点検チェックリスト

全ての作業の完了後に、下記をチェックしてください。

No.	チェック項目	チェック内容	チェック
1	きず、汚れ	表面にきずや汚れがないか確認する。	
2	がたつき・ゆるみ	水栓本体および接続部に、がたつきや、ゆるみがないか確認する。	
3	流量	適正であるか確認する。	
4	水漏れ	水栓本体および接続部から、水漏れがないか確認する。	
5	清掃	水栓本体を柔らかいきれいな布に水を含ませ、かたく絞ってふく。 吐水口を綿棒などで清掃する。	

引き渡し

取扱説明書に従って取り扱い方法をお施主様にご説明ください。

保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

取扱説明書が入ったビニール袋にカートリッジを入れてレバーハンドルに引っかけて、お施主様にお渡しください。

パナソニック株式会社 水廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2011

ZKJ0TKCK40SSK0B F0711NK2043